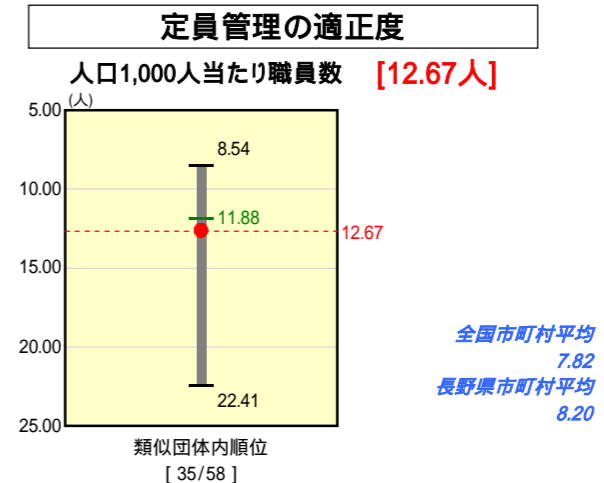
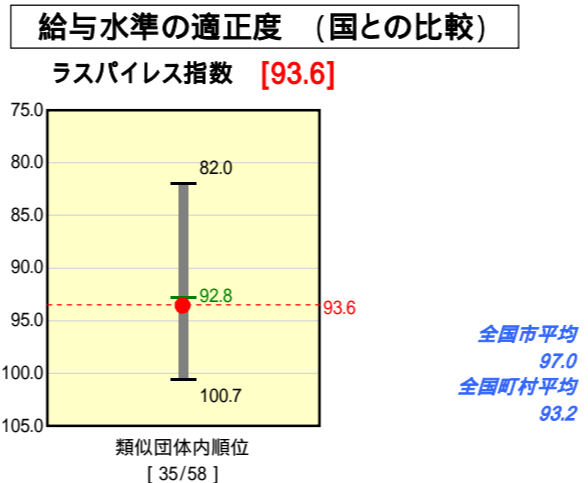
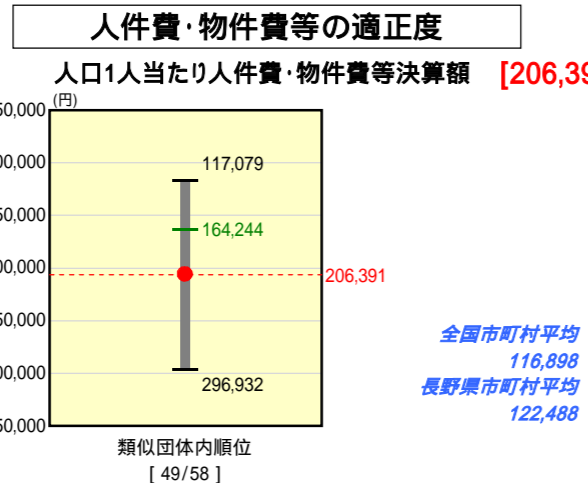
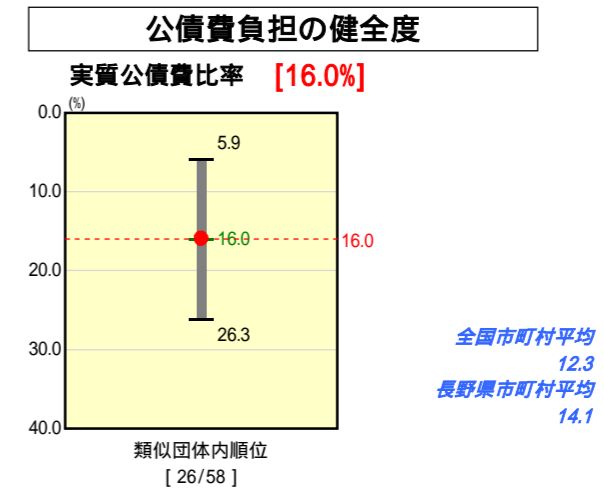
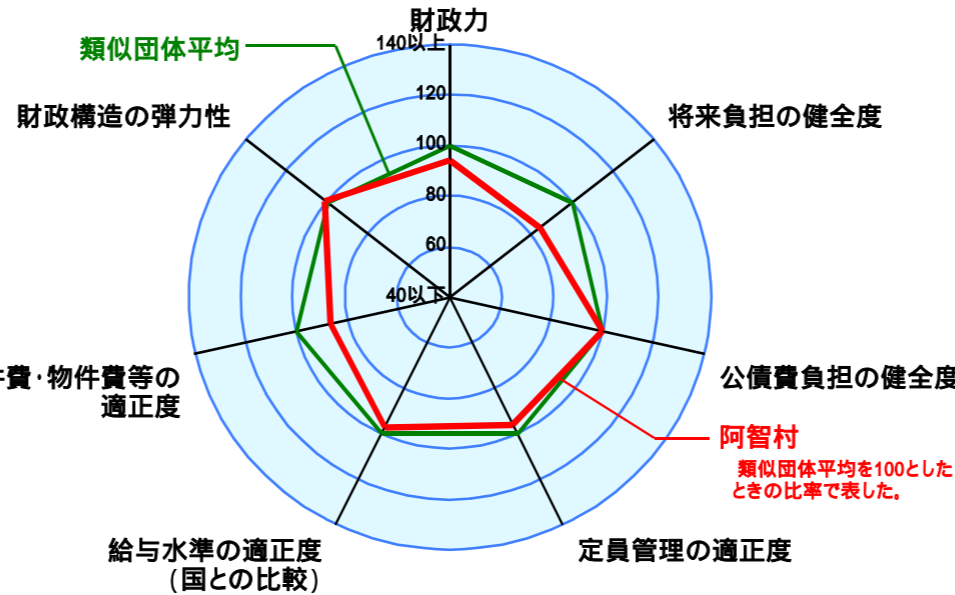
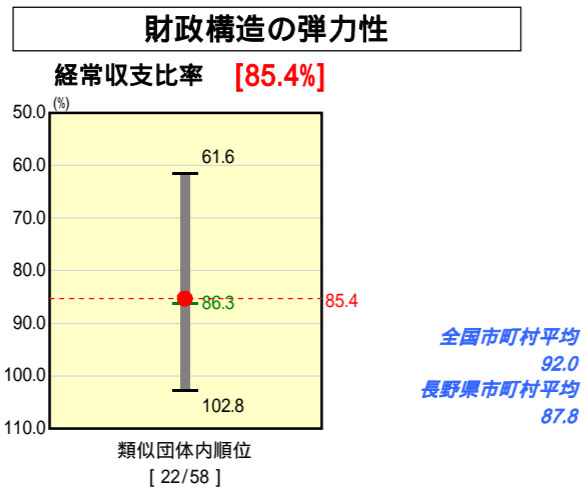
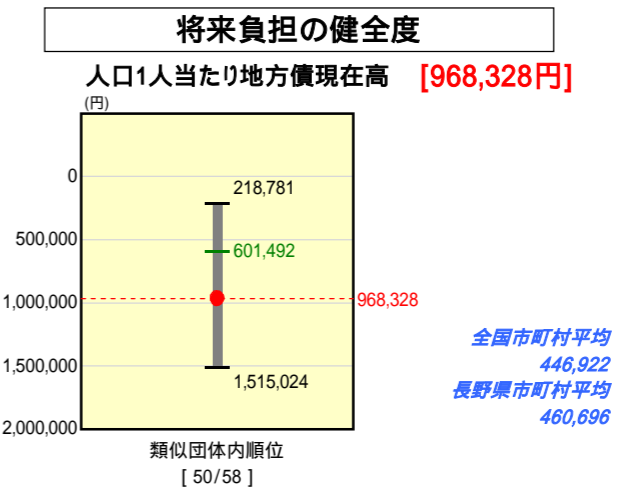
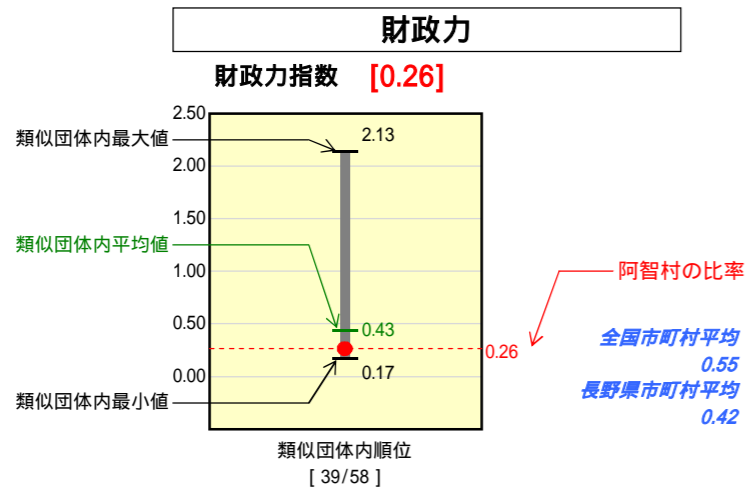


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 阿智村

人口	6,472	人(H20.3.31現在)
面積	170.31	km ²
歳入総額	5,780,807	千円
歳出総額	5,581,042	千円
実質収支	126,890	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数・類似団体平均、県内平均を下回っている。税収の基幹となるような産業が少ないため収入の増が見込めない。村の所用産業である昼神温泉を中心とする観光業を中心に、また他産業においても振興を目指す。

経常収支比率・類似団体とはほぼ同じではあるが、特別会計への繰出金の増により85.4%は過去最高である。今後、繰出金の適正化による抑制を図るとともに、地方債償還を計画的に行うことにより単年度の元利償還金の抑制に努める。

一人当たり人件費・物件費等決算額・人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口一人当たり金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。保育所を村内6園行っているなどの施設運営によるところが大きい。今後は、保育所の統合なども検討を進め、コストの低減を図っていく方針である。

ラスパイレス指数・類似団体内では平均値よりやや高い数値となっているが、全国町村平均値とほぼ同数値である。数値自体は国との比較では大きく上回っており、今後は職務、職責、成果等により適正な運用が求められる。

人口一人当たり地方債現在高・類似団体平均を大きく上回り、今後数年間も統合中学校建設事業などの大規模事業があり、同程度の数値で推移する見込みである。実質公債費比率などの数値も考慮しながら、繰上償還などを積極的に取り入れ健全な財政運営を図る。

実質公債費比率・現在は類似団体平均値と同じであるが、近年の大規模事業により増加の兆しが見られる。これまで10年を償還の基本としていた本村の銀行等引受債について、世代間の負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化の観点から今後発行のものは20年償還も取り入れ、償還額の平準化及び実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

人口1,000人当たり職員数・類似団体平均をやや上回っている。合併により職員数が増加したことが要因と考えられるが定員適正化計画に基づき、退職時不補充により正規職員の削減に努めており、職員数は減少していく見込みである。